

# 運行時間



## パレード会場 (13:00~18:00)

(国道112号 山形メディアタワー角~榮玉堂角)

13:00~ オープニングセレモニー

オープニングパレード

(たたら太鼓振興会・山形伝統工芸御興)

山形まるごとマラソンゲストトーク (谷川 真理さん・増田 明美さん)

新庄まつり 14:00~

13:30~

谷地どんがまつり 谷地奴 14:30~

むらやま徳内まつり 14:45~

寒河江神輿會

尾花沢伝統花笠踊り

15:30~ ながい黒獅子まつり

酒田花魁道中 15:45~

16:00~ 左沢奴保存会

16:15~ 飛龍保存会

仙台すずめ踊り 16:30~

16:45~ 山形花笠まつり

17:15~ フィナーレ

※スタート時間は目安です。

## ステージイベントエリア(13:15~18:00) 進行 爆笑コメディアンズ

13:15~ 寒河江神輿會

オープニング 13:30~

13:35~ 山形交響楽団

山形花笠まつり 14:05~

仙台すずめ踊り 14:25~

14:45~

やまがた舞子

山形交響楽団 15:05~

たたら太鼓振興会 15:35~

15:55~

新庄まつり(お囃子)

16:15~ むらやま徳内まつり

16:35~ 尾花沢伝統花笠踊り

16:55~

やまがた愛の武将隊

17:15~

山形交響楽団

17:45~

たたら太鼓振興会

18:00~

クロージング

※スタート時間は目安です。

## 物産展・企業団体PRエリア(11:00~18:00)

●寒河江市観光物産協会 ●上山市観光物産協会 ●もがみ物産協会

●スターバックスコーヒー ●山形市環境課 ●海と日本プロジェクトin山形

●国土交通省 山形河川国道事務所 ●まるごとマラソンコーナー

●まるごとマラソンおもてなしコーナー

14:30~ やまがた愛の武将隊 演舞

## 仙山交流エリア(11:00~18:00)

(山形市役所 東側 市民プラザ)

- ◉山形芋煮・仙台芋煮の鍋合戦
- ●牛タン・三角あぶらあげ・ほや串焼などの物産ブース

## **飲食エリア** (11:00~18:00)

(①文翔館噴水広場 ②市役所 西側 駐輪場)

①村山地区お祭り商(協) ②山形麺類食堂協同組合、山形豆腐類組合

# **UEE 13:00~18:0** ステージイベントエリア パレード会場ライブ中継● きらやか銀行 飲食エリア パレード会場 やまぎん ホール 山形メディア 飲食エリア 山形市役所 本 部 仙山交流エリア JAやまがた 業式堂 物産展・企業団体PRエリア

山形商工

山形銀行

本店

会議所

### (主催)まるごと山形 祭りだワッショイ実行委員会

(事務局:山形商工会議所地域振興課) 山形市七日町3-1-9 TEL:023-622-4666 FAX:023-622-4668



山形まるごとマラソンの前日祭として、山形市中心部で開催される『まるごと山形 祭り だ!ワッショイ!』。国道112号 山形メディアタワー角~榮玉堂角の「パレード会場」と文 翔館正面広場の「ステージイベントエリア」の2会場に県内各地のお祭りが集結します。 今年は仙山連携特別出演として、仙台市から"仙台すずめ踊り"も参加。賑やかにパ レードが繰り広げられます。山形市役所市民プラザでは、物産ブース・企業団体PRブー スと仙山交流ブースが出展、ぜひお立ち寄りください。飲食エリアは文翔館の噴水広場 と山形市役所西側駐輪場。山形のおいしい食べものをお楽しみください。



平成2年、山形市銅町に「たたら太鼓振興会」は産声をあげました。銅町は古 来より山形を代表する鋳物の産地です。その鋳物の製造にあたり、昔は溶 解炉に大量の風を送り、火を起こし、金属を溶かしておりました。その大量の 風を作り、送る足踏み式の大型の道具を「たたら」と言います。現在は電気の 溶解炉に変わり、使われなくなりましたが、その古典的製造法の「たたら」を讃 え、象徴し、そして伝統産業と地域の振興を願って創作されたのが「たたら太 鼓振興会」です。「たたら太鼓」の特徴は、山形鋳物製の「銅鼓」(日本で1つ しかない)を中心に、「大太鼓」「宮太鼓」「締太鼓」の編成で演奏しています。 鳥海月山両所宮例大祭、たたら祭り、各種イベントに出演しています。

8月24日金~26日日



毎年8月24日~26日の3日間にわたり開催される260年以上の歴史を誇る新庄ま つり。藩政時代の宝暦6年、時の藩主戸沢正諶(まさのぶ)公が前年の大凶作で打ち ひしがれている領民に活気と希望をもたせ、五穀豊穣を祈願するために戸沢氏の氏 神である城内天満宮の「新祭」を領内あげて行ったのが起源とされています。古式ゆ かしい神輿渡御行列、絢爛豪華を競う日本一の山車(やたい)行列、山車行列に華を 添える新庄囃子など、勇壮にして華麗な3日間が繰り広げられます。国の重要無形民 俗文化財に指定されており、昨年には全国33のまつりとともに「山・鉾・屋台行事」 として、県内で初めてユネスコの無形文化遺産に登録されました。現代によみがえる 歴史絵巻、新庄の夏は、まつりの興奮と熱気でフィナーレを迎えます。

2018年 月15日出~17日月



谷地八幡宮例祭の御興還御大祭の露払いを務める谷地奴(やちやっこ)は、天明4年 (1784年)にはすでに行われた記録が残っています。谷地八幡宮例祭でのその勇壮な 振り姿と、掛け歌入りで、振り奴としては、類のないものと賞賛され、力強く、長く伸ばす 掛け声と、独特の振り歌で練り歩く様子は圧巻で、とくに振り始めと終わりの「立て」と 「収め」は見事と評判です。先頭は挟み箱(はさみばこ)・立て傘(たてがさ)・台傘(だい がさ)・大鳥毛(おおとりげ)・黒熊手(くろしゃがま)・白熊手(しろしゃがま)からなり、それ ぞれに付き人が付くほか、先払い・わらじ持ちの27・8人で構成されています。いでたち は、前結びの鉢巻・紺の半纏・赤股引き・脇差を帯刀にして、デフォルメされた大きな煙 草入れと煙管を帯びています。観客の皆さん谷地奴の勇姿をとくとご覧下さい。

## 無決まつり [a018年] 8月予定

最上徳内が、北方探検の時に活動の拠点としていたのが、現在の北海 道厚岸町です。徳内は、探検の成就やこの地の安寧を願い厚岸に神明 宮(現在の厚岸神社)を建立しました。この徳内ゆかりの厚岸神社の祭り で古くから受け継がれてきたお囃子は、徳内の故郷村山市で「徳内ばや し」として地域に深く根付いています。「徳内ばやし」は、鉦、笛、大太鼓、 締太鼓、掛声等からなる囃し手が、豪華な山車に乗り込み、踊り手は軽快 なお囃子に合わせて、勇壮かつ華麗に、各団体が特色を活かした踊りを 繰り広げます。今では「むらやま徳内まつり」として、山形を代表する夏ま つりとなっています。観客の皆さん、村山市の夏をぜひ体感してください!



寒河江神輿會26団体を代表して、2基の神輿が参加します。「仲盛睦會 神輿保存会」粋な 仲間が集まり盛り上がる、それが仲盛。平成4年に寒河江市仲田地区の盛年会有志を母体 にスタートしました。仲盛睦會といえば万燈神輿、昼の渡御も映えますが、どちらかと言えば、 夜の渡御に映える神輿で、弓張提灯行燈の明りが魅了する神輿です。秋の空に美しく揺れる 純白の房が祭りに華を添えます。「龍南會 神輿保存会」平成10年に発足し、14年目にはどっ こい神輿発祥の地、湘南神輿になぞらえ、化粧網を白もじりに替え大きな鈴を鳴らして担ぐの が特徴となっております。常に神輿の楽しさや厳しさを追求し、多くの関係団体への応援渡御 に参加したり、昼渡御も行い市立病院では病気平癒祈願祭として受け継がれ患者さんが一 日も早く元気を取り戻すよう神事を行っています。神輿の楽しさを受け継ぎ活動しています。

[2018年] **8月27**日月~28日火



尾花沢市は、花笠踊りの発祥地です。大正8年に灌漑用水の為の水 がめを工事の際作業員がけが防止や労働を楽しくするために歌われた 「どつき唄」が花笠音頭の元歌、その歌に合わせて作業員が被っていた . – スゲ笠で即興で振りを付けたのが花笠踊りの始まりです。大きな笠を ダイナミックに回す笠回しが特徴で、尾花沢市には現在、上町流・寺内 流・原田流・安久戸流・名木沢流の伝統5流が伝承されております。笠 回しにも全て労働作業の意味があり、労働の休憩中に踊っているので どの流派もその場で踊る定着踊りが特徴です。

<sup>2018年</sup> 5月19日仕



長井の獅子舞の起源は今から千年前に遡ります。現在でも、市内各地 区では5月から9月にかけ五穀豊穣、家内安全等を祈願し、氏子1軒1軒 を払い清める「伝統神事」として受け継がれ奉納されています。目玉が 丸く飛び出し「蛇頭」と呼ばれる獅子頭に、波頭を表した大幕をつけ多 人数の舞手が入る「むかで獅子」という当地域特有のものであり、荒々 しい「動き」の中にも、威厳に満ちた「静」の舞は独特であり、地域の人 は昔から親しみをこめ「おしっさま」と呼び、信仰を深めています。中で も、警護と呼ばれる力自慢と獅子の力比べが見どころです。



かつて東北・日本海随一の湊町と謳われた酒田には、粋で雅な花柳文化が存 在していました。出船入船ごとに賑わう台町あたりを中心に多くの料亭が立ち並 び、遊郭も湊の隆盛の象徴としておおいに繁盛しておりました。一流の商人があ つまる湊には一流の遊び処があり、そこには一流の遊女(花魁)がおりました。花 魁と盃を交えることは余程の人物に限られていたそうです。江戸時代、全国の花 街をランキングした『諸国遊所番付』においても前頭に格付けされていた酒田 の花柳界。今回は実在した花魁をモデルにし、情に厚く詩歌の才に秀でた『花 魁 玉蘭」を仕立てます。酒田まつりの新たな出し物として、昨年美容師有志た ちが実行委員会を立ち上げました。一同、研究を重ねて準備してまいります。



左沢奴保存会は昭和3年に天皇御即位記念の八幡神社祭典時に検討 し、旧左沢小漆川地区は寛永年間酒井家が左沢城を築いた歴史的観点 から「奴 |を取り上げ、この先頭に立ち取りまとめたのが世界三大舟唄とい われる「最上川舟唄」を舟人達に口づまれていた労働歌を編曲し、自ら 唄って全国に広めた郷土民謡家の後藤岩太郎翁(当時36歳)である。創 立にあたり「奴行列」は旧村山群富本村湯ノ沢に、更に賑やかさを増すた め「舞奴」は旧尾花沢町に指導を受け、道具は当初手造りで、戦後、元天 童藩主の名家より譲り受け、若い衆が大八車に荷を積んできたと云う口 伝えが残っている。尚、出場は「大江の秋まつり」に3年毎に出場している。

2018年 8月12日(日)



その昔庄内町深川に金沼と呼ぶ沼があり、そこに一頭の恐ろしい龍が棲 んでいました。龍は村が稔りの秋を迎える頃になると必ず人身御供として 若い娘を一人差し出させ取り喰う悪行を慣わしとしていました。ついに村の 娘は庄屋の娘一人になってしまいました。覚悟を決めた娘は日頃信心して いる観音経一巻を手に龍に立ち向かい、手にした経文で龍の頭をうちつけ ました。その後、悔い改めた龍は権現となり多くの人々を救ったという事で す。これが古くから伝わる『飛龍伝説』というものです。活動内容等詳しくは Facebookをご覧下さい。それでは迫力のある日本最大級の飛龍の舞をど うぞ!※演舞途中に振る舞われる飴にご注意してお楽しみ下さい!



『仙台すずめ踊り』は、仙台城築城の宴席で、仙台藩祖・伊達政宗公の前 で大阪・堺の石工たちが即興で踊ったことが起源とされ、法被姿に扇子を 両手に持ち、軽快にはね踊る仙台を代表する郷土芸能として、毎年5月に 開催される「仙台・青葉まつり」をはじめ、さまざまな場面で踊られていま す。今年の仙台・青葉まつりでは140を超える祭連(まづら)、約5,000名 の踊り手、囃子手が参加しました。今回、仙台すずめ踊りをご披露させて いただくのは、各祭連からの選考により結成された選抜チーム「仙台すず め踊り 伊達の舞(だてのまい)」です。小気味良いテンポのお囃子に合わ せた、両手の扇子捌きと躍動感あふれる踊りを是非ご覧ください。

2018年 開催予定 8月5日旧~7日火



「ヤッショ、マカショ」の威勢のいい掛け声が聞こえてまいりました。山形花笠まつりで す。山形花笠まつりは、山形の真夏の夜空をこがす華麗なおまつり。毎年8月5日から7 日の3日間行われます。花笠太鼓の勇壮な音色にのせて、艶やかな衣装と紅花をあし らった笠を手にした踊り手が、山形市のメインストリートで群舞を繰り広げます。山形市 十日町から文翔館までの約1.2kmの通りを、約160団体、13.500人の踊り子たちが埋 め尽くすさまは壮観です。正調女踊りと正調男踊りをメインに、花笠踊り発祥の地・尾 花沢地方のダイナミックな笠回し系や独自の創作踊りなど、多彩な踊りを楽しむこと ができます。本日は、ミス花笠をはじめ4団体、100名の踊り手が、華やかな舞を披露 いたします。山形花笠まつりは、毎年8月5日から7日までの3日間、開催されます。



山形伝統工芸御輿は、昭和55年3月に伝統的工芸品として国より指 定を受け、全国的にも高く評価されている「山形仏壇」の伝統技術の 粋を尽くして製作されたお御輿です。山形伝統工芸御輿の担ぎ手「山 形神輿連絡会」は、山形市内で神輿渡御を行っている5団体を中心 に、寒河江市、東根市、大江町の3団体を加えた8団体で平成8年3月 に設立されました。毎年各団体の神輿渡御へのご奉仕のほか、近年で は東北六魂祭、日本一「さくらんぼ」祭り、山形花笠まつり等で山形伝 統工芸御輿による御輿渡御のご奉仕を行っています。



西暦1600年、今から四百数十年前。群雄割拠の戦国時代に於いて日 ノ本全土では激しい勢力争いが繰り広げられた。そして出羽国「やまが た」でも、その後の日本の歴史を大きく変えた大戦が起こった。それこそ が、上杉軍と最上軍、伊達軍が激突した「もう一つの関ヶ原」といわれ る、慶長出羽合戦、「長谷堂城の戦い」である。激闘を繰り広げた偉大 な武将達が今現世に甦り、刃を交えながら山形県の魅力と歴史を伝え るべく立ち トがった!

故郷への【愛】を胸に…いざ、出陣!



山形の伝統芸能後継者育成を目指して、平成8年2月に山形商工会 議所や山形市観光協会が中心となり、山形市内企業の出資により、山 形伝統芸能振興株式会社(愛称:やまがた紅の会)が設立され、「やま がた舞子」が誕生いたしました。現在は、やまがた舞子から山形芸妓の 道へ進んだ菊弥をはじめ、試験で選ばれた6名のやまがた舞子と、3名 の芸子が伝統芸能後継者としてお座敷に出て、「山形のおもてなし」で お迎えするとともに、県内外の様々なイベントやコンベンションで山形 の観光PRをしております。



山形交響楽団トロンボーン四重奏団。太田涼平、篠崎唯、高橋智広 山崎翔子(客演)によるステージです。本格的なトロンボーン四重奏の 作品はもちろん、お祭りをテーマにした曲や、アニメ、映画音楽など、ど なたでもお楽しみいただけるプログラムでお迎えします。山形交響楽団 のコンサートでも度々共演している爆笑コメディアンズとのカラミも是 非ご期待ください!!